

第3章 新たな地域コミュニティ構築への基本的な考え方

1 基本理念

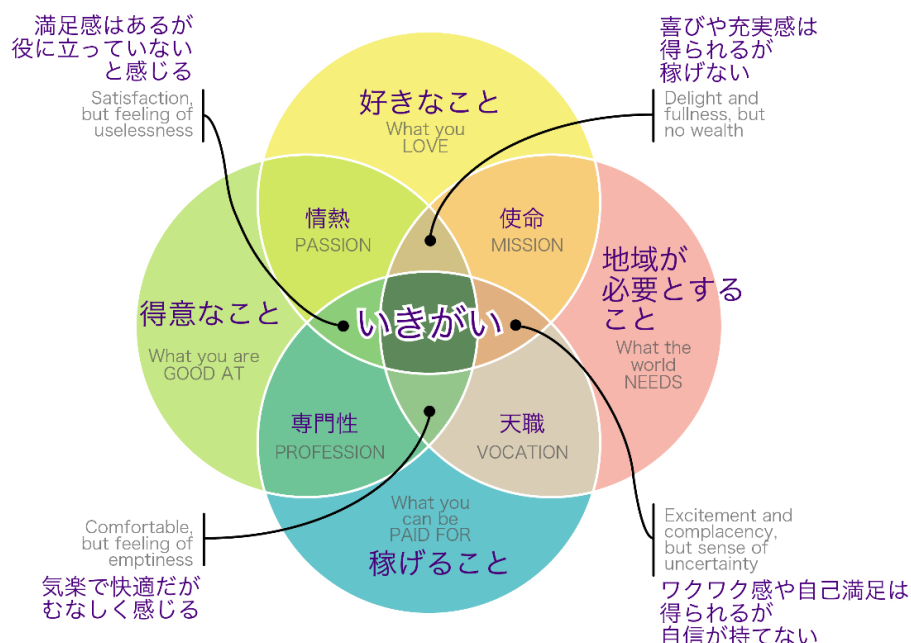
地域 Ikigai さいき プロジェクト

～地域住民がいきがいを持って、
安心して幸せに住み続けられる街・浦・里の実現～

九州一広大な面積を有する本市は、街、浦、里がそれぞれ豊かな地域資源を有し、特色ある地域がたくさんあります。それぞれの地域の住民一人一人がその地域に誇りを持ち、主役となって地域活動に参画することで地域資源がいかされるとともに地域の課題も解決できます。これは、住民のいきがいに繋がり、住み慣れた場所で安心して幸せに住み続けられる地域が実現します。

これらを地域住民と行政が「協働」で「地域 Ikigai さいき プロジェクト」として推進することが本指針の基本理念です。

Ikigai いきがい



※ 世界経済フォーラムのウェブサイトで紹介された「Ikigai」(いきがい)

地域コミュニティ活動において、住民一人一人が「好きなこと」「得意なこと」「地域が必要とすること」「お金が稼げること」などの重なりによってより強くなる「いきがい」を感じる活動を主体的に展開し、行政がそれを支え、支援することで地域を再構築していきます。

2 基本方針

次の4つの基本方針について、「住民の、住民による、住民のための、地域づくり」を念頭に、行政主導ではなく、住民自身が考え、納得した地域づくりを進めていきます。

(1) みんなが主役となる地域づくり【住民参画】

人口減少が進み、人口ピラミッドの形状も「筒型（棒状）」となることが想定されている中、地域コミュニティにおいては、若者から高齢者、男性も女性も多様な住民が参画し、全ての世代が主役となる地域づくりの姿が求められます。地域の課題について、地域のみんなが「自ら考え、自ら決定し、自ら実行する」機能を持つために、住民が地域づくり全般に目を向け、いきがいを持って活動し、住民それぞれが地域に愛着と誇りを持つ地域コミュニティを目指します。

(2) 住民と行政等との「協働」による地域づくり【行政等との協働】

地域住民と行政などが、共に地域づくりを支える担い手として地域の課題と目標を共有し、それぞれの責任と役割、立場などを理解するとともに、持っているノウハウ、資源や特性を持ち寄り、互いに対等なパートナーとして連携・協力する「協働」の地域づくりを目指します。

(3) 地域共生社会の実現に向けた地域づくり【共生社会】

地域住民や地域で活動する団体等が相互に交流して活発なコミュニケーションを取り、情報の共有を図ります。これとともに、住民一人一人が互いに異なる多様な価値観を認め合い、理解、尊重することで相互扶助や家族同士の助け合いなど、支え合いの機能を持続させ、地域共生社会の実現を目指します。

(4) 地域の資源・特性をいかした地域づくり【地域特性】

地域ごとにある自然、歴史、文化、人材、施設など、地域の資源・特性はそれぞれ違ってきます。地域コミュニティは、多様な地域課題の解決に総合的に取り組む役割を担っており、その取組方は地域の資源・特性によって様々です。そのため、それぞれの地域で、地域の資源・特性をいかした仕組みを作り上げていくことを目指します。

基本理念

地域 Ikigai さいき プロジェクト

．．．．

～地域住民がいきがいを持って、

安心して幸せに住み続けられる街・浦・里の実現～

基本方針

- ・みんなが主役となる地域づくり【住民参画】
- ・住民と行政等との「協働」による地域づくり【行政等との協働】
- ・地域共生社会の実現に向けた地域づくり【共生社会】
- ・地域の資源・特性をいかした地域づくり【地域特性】